

ねえねえ 姉々 nee-nee

意味

沖縄地方の方言で、姉の呼称。

用法

・対語： にいにい

ねちねち nechi-nechi ねちりねちり nechiri-nechiri

意味

(1) 気性や性格などから素直でなく、くどいようす。しつこく絡みつくようす。 (2) 粘りつくようす。

用法

(1) 「～と厭味を言う」

・類似： (1) くどくど (2) ねとねと、ねばねば

ねとねと neto-neto

意味

ねっとりと粘りのあるようす。

用法

「～しつこい」

・類似： ねちねち、べたべた

ねね ne-ne

意味

(1) ねんね。ねんね。寝ること。 (2) 赤ん坊。

・類似： (1) ねむねむ、ねんねん (2) ねね

ねばねば neba-neba

意味

粘りつくようす。粘りついて絡むようす。

用法

「餅が～する」

・類似： べとべと、ねとねと

ねむねむ nemu-nemu ねんねん nen-nen

意味

(1) とてもよく眠ること。 (2) こどもの眠りを誘うあやし言葉。

説明

「ねんねん」は「眠る」が語源であることから、「ねむねむ」が訛ったと想像される。

用法

(2) 「～しましょ」

ねんねん nen-nen ねーんねーん neen-neen

意味

(平安頃の古語で)ネコ(猫)の鳴き声。

説明

ネコは鳴き声から「ねんねん」と呼ばれていた。別説ではネコはよく眠ることから「ねんねん」と呼ばれていた。これに“可愛い”を表す「子」を付け「ねんこ」とも呼ばれ、それが「ねこ」の語源になったとされる。

・類似：びおびお

ねんねん 年々 nen-nen

意味

毎年。としごと。

用法

「～寂れてゆく」「～増加する」「年々歳々」= 毎年を強調した語。来る年も、来る年も。「年々小作」= 一年ごとに契約を更新して継続する(農業の)小作。

・類似：としどし、さいさい

ねんねん 念々 nen-nen

意味

(1) 仏教の「念」を強調した語で、極めて短い時間。刹那刹那。一瞬一瞬。 (2) 一刹那に起こる思い。一念一念。

用法

「念念称名」「念念生滅」「念念相続」

・類似：(1) いっしゅんいっしゅん (2) いちねんいちねん